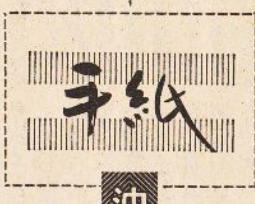


# 血相かえ詰めよる生徒

三月十日夜のテレビニュースのどくと、色々な事例を出し、日の丸のある卒業式を拒否して説明する私たちと対立して、沖繩県の高校生の泣きじゃくっているシーンを、二十一年前の同じ三月十日の出来事を思い出した。

その前日まで管理職の「日の丸をステータスに強める。君が代を式次第に入れる」をめぐって、職場はあちこちで管理職と意を違したようにPTAの三役が加わってきて「日の丸が君が代を卒業式に入れんとする奴(や)は日本人ではない。恥を知れ！」と大声をあげてのしり「日の丸が君が代が幸福に生きていこうとまよかな願いを保持して国民に何をしたらか。その反省も、反省に基づいた決意もないままに憤懣もなく出てくるのは、一人ひとりの子どもを大切にしよう、生命を限りなく愛せよう」として私たちの教育実践を混濁で踏みこむるも

沖繩県の県立高校の卒業式の最中に女子高生が「日の丸」をのり上げたところを、ニュースを捉えて、私は腹が立つと同時に、今までの腹の底にためていた腹(う)みをつき出すように思いついた。思いついた。学校関係者が君たちの行為は犯罪だと書いていました。しかし、私はむしろ犯罪者は学校側の方ではないかと思うのです。このように、私が敬愛し、現在の日本で唯一世界に誇れることのできる式(式)の「日本国憲法」で、思想良心の自由の保証、信教の自由、国の宗教活動



## 沖繩の日の丸

とつのは、国家がほぐれた卒業式を許可するとの意味です。ほぐれたのは日の丸のために卒業して行くのはありませぬ。三年間、先生たちと一緒に考えた、ひとりの生命が大切にされる社会をつくるためにどう目標に近づかせるために卒業していくのです。中国やアジアで戦争の先頭になった昔の(式)を悔もしいような日の丸に、ほぐれないです。日の丸を認めない論争の中から生まれた激しい論争の中には恥ずかしがった。若い論理だったが、日の丸と国民主権の関係を中学生なりに把握していた。日の丸思想が、国民の権利などを重戦車のキヤタヒラの下に踏みつぶして

「これが無い」はいたったのだ」としか返事のできない私や同僚に対し、A君は「ぼくは式に出ません。日の丸のために卒業などしなくてはなりません」と、抗議するようについで「この時を校庭です。」

## 心を逆なで先生の言葉

三月十日夜、朝日テレビのニュースステーションの中で、沖繩の女子高生が卒業式の壇上から日の丸を奪い、丸め投げ捨て、泣きさげているシーンが放映された。

「ひめゆりの塔」などの当時を物語る数々の悲しい事実がある中で、高校生ならば知っているから日の丸を奪い、丸め投げ捨て、泣きさげているシーンが放映された。アメリカから返還されたのは、もともと、そんな年代で、かつての思わぬ戦争を知っているわけでもなく、思いついた四十数年前の時に悲惨な目にあった沖繩県人の歴史を、本で読んだか、語り部的に教えられるか、そうではなくとも現実に

「ひめゆりの塔」などの当時を物語る数々の悲しい事実がある中で、高校生ならば知っているから日の丸を奪い、丸め投げ捨て、泣きさげているシーンが放映された。アメリカから返還されたのは、もともと、そんな年代で、かつての思わぬ戦争を知っているわけでもなく、思いついた四十数年前の時に悲惨な目にあった沖繩県人の歴史を、本で読んだか、語り部的に教えられるか、そうではなくとも現実に

「日の丸掲げぬ卒業式に辞意(十三日付)を読ま、ベン」を取りました。日の丸を掲げ、君が代を歌うと国を愛するようになるから日か。また、国を愛するから日の丸を掲げ君が代を歌うのでしうか。しかし、よく考えな

## 国より人類を愛したい

「日の丸掲げぬ卒業式に辞意(十三日付)を読ま、ベン」を取りました。日の丸を掲げ、君が代を歌うと国を愛するようになるから日か。また、国を愛するから日の丸を掲げ君が代を歌うのでしうか。しかし、よく考えな

校生の、平和と個人の尊厳に対する強固な意志の表情と、A君の日の丸拒絶を訴えた表情が女性に出来た。若者はいつの時代も新人類。沖繩県の新人類は平和と人権に敏感なアンテナを備え、それを犯す力に抗議する時代批判力を持つている。広島県 一老教師(54歳)

「ひめゆりの塔」などの当時を物語る数々の悲しい事実がある中で、高校生ならば知っているから日の丸を奪い、丸め投げ捨て、泣きさげているシーンが放映された。アメリカから返還されたのは、もともと、そんな年代で、かつての思わぬ戦争を知っているわけでもなく、思いついた四十数年前の時に悲惨な目にあった沖繩県人の歴史を、本で読んだか、語り部的に教えられるか、そうではなくとも現実に

また、日の丸を掲げること、結果的には日本人であるという誇りを種つけています。世界平和に必要なのは、愛国心をそとせよ自国民の誇りを持たせることよりも、人間ひとりのこの謙遜さではないでしょうか。歴史をみれば明らかのように、国家的な誇りが他の国々の人々に対する差別や偏見を生み出して、心を傷つけ戦争を起す場合もあるのです。

私は、自分が生まれ育った国、日本が好き、愛着があります。でも私は、日本を愛する以上、この地球すべてを愛したいのです。強制的に日の丸を掲げ、ろわなだけの愛国心をそとせよ、世界平和とは何かを、そのために何をすべきかを心の中に刻みつけるような教育を、私は望んでいます。

東京都 長谷川 清 (自営業 62歳)

「ひめゆりの塔」などの当時を物語る数々の悲しい事実がある中で、高校生ならば知っているから日の丸を奪い、丸め投げ捨て、泣きさげているシーンが放映された。アメリカから返還されたのは、もともと、そんな年代で、かつての思わぬ戦争を知っているわけでもなく、思いついた四十数年前の時に悲惨な目にあった沖繩県人の歴史を、本で読んだか、語り部的に教えられるか、そうではなくとも現実に

また、日の丸を掲げること、結果的には日本人であるという誇りを種つけています。世界平和に必要なのは、愛国心をそとせよ自国民の誇りを持たせることよりも、人間ひとりのこの謙遜さではないでしょうか。歴史をみれば明らかのように、国家的な誇りが他の国々の人々に対する差別や偏見を生み出して、心を傷つけ戦争を起す場合もあるのです。

私は、自分が生まれ育った国、日本が好き、愛着があります。でも私は、日本を愛する以上、この地球すべてを愛したいのです。強制的に日の丸を掲げ、ろわなだけの愛国心をそとせよ、世界平和とは何かを、そのために何をすべきかを心の中に刻みつけるような教育を、私は望んでいます。

東京都 長谷川 清 (自営業 62歳)